

## 今後の宇宙政策の在り方に関する有識者会議 第1回会合 結果要旨

1. 日 時 平成 22 年 2 月 23 日（火） 15:30～17:00
2. 場 所 前原大臣室（合同庁舎 4 号館 5 階）
3. 出席者 （政務三役） 前原大臣、大島副大臣、泉大臣政務官  
（敬称略） （構成員） 松井孝典、秋山演亮、薬師寺泰蔵、山川宏
4. 議 題 (1) 今後の宇宙政策の在り方について  
(2) その他
5. 資 料  
資料 1-1 今後の宇宙政策の在り方に関する有識者会議の開催について  
（平成 22 年 2 月 23 日 内閣官房長官決裁）  
資料 1-2 今後の宇宙政策の在り方に関する有識者会議 運営要領（案）  
資料 1-3 我が国の宇宙開発利用の現状

## 6. 概 要

(1) 開会 開会に当たり、前原大臣から挨拶があった。

### (2) 座長及び座長代理の決定などについて

前原大臣より、松井孝典氏を座長に、中須賀真一氏を座長代理にすることについて依頼があり、そのとおり決定された。

また、資料 1-2「今後の宇宙政策の在り方に関する有識者会議 運営要領（案）」については、原案のとおり、今後の宇宙政策の在り方に関する有識者会議として決定した。

### (3) 今後の宇宙政策の在り方について

本有識者会議の今後の議論の進め方及び今後の宇宙政策の在り方に係る出席者からの主な意見の概要は以下のとおりであった。

（今後の議論の進め方について）

- ・ 本有識者会議は、6 月に取りまとめられる予定の新成長戦略に宇宙政策を盛り込んでいくためにも、4 月を目途に取りまとめ、その後、宇宙開発戦略専門調査会で議論していくこととした。
- ・ 多様な分野をカバーするため、事業者などからヒアリングを行うこととした。

(ただし、構成員による議論の時間を確保するため、必要最低限に絞ることとした。)

(今後の宇宙政策の在り方について)

- ・ 今すぐに宇宙基本計画を何か変更するというのではなく、宇宙基本計画に盛り込まれた施策の重点化に向けた議論を進めていくことで、より戦略的に再構成していく必要があるのではないか。
- ・ 我が国の宇宙政策の基本的な方針として、地球・月周りに留まるのか、より外側のディープスペースに出て行くこととするのかを決めていく必要があるのではないか。
- ・ ディープスペースに出て行く場合、その推進体制を検討する必要があるのではないか。特にこれまで宇宙科学研究所が果たしてきた役割や、全国の大学との効率的な連携などについての検討が必要ではないか。
- ・ 世界から見た日本の宇宙政策という視点が必要ではないか。
- ・ 国全体に勢いのある国は、科学が強い(勢いがある)。我が国全体の勢いを盛り立て、産業投資を呼び込むためにも科学に勢いを付けることが必要ではないか。
- ・ 我が国の経済状況全体を踏まえ、我が国として、宇宙分野にどれだけの投資を行って良いのかという議論が必要ではないか。
- ・ 欧米と比して、我が国の宇宙産業における民需が少ないことが問題ではないか。
- ・ 施策の推進・中止などの検討、市場獲得に向けた諸外国の情勢調査などのため、100人規模の調査・分析・立案組織が必要ではないか。
- ・ 開発側ではなく、利用側(ユーザーサイド)から見た宇宙政策にシフトすべきではないか。
- ・ 我が国ではデータを利用した商売のコミュニティが十分に育っておらず、これを育てていくことが必要ではないか。(ハードと比較し、データの活用部分への投資が不十分ではないか。)
- ・ 国としてなすべきこと(民間ではできないこと)と、将来の市場・産業の呼び水として国が実施すべきものという視点が必要ではないか。
- ・ 我が国では、宇宙政策に係るステークホルダーが固定化されていることが問題であり、新たなステークホルダーが入ってくるようにすることが必要ではないか。
- ・ 我が国のレゾナントルとして、世界にどのように貢献していくかという視点が必要ではないか。
- ・ 宇宙の利用が広がることが重要であり、小型衛星の開発・利用により、宇宙の敷居が下がることが重要ではないか。そのような観点からも、地方公共団体・大学などで興味を持っているところと連携し、これを育てていく取組みも考え

ていくべきではないか。

- ・ 我が国の宇宙産業を国際市場で売れる産業にしていくことが必要ではないか。
- ・ ロケットなどの宇宙輸送能力は、日本の衛星の自在な打上げに必要であり、我が国として確立しておくべきものではないか。また、今後の小型衛星の効率的な打上げに必要な小型で低コストのロケットも必要ではないか。
- ・ 長期的なスパンで考えたときに、国際的な取組み、特にアジア諸国への教育・協力が重要ではないか。

以上